

良好な景観形成のための配慮事項 チェック表

【建築物及び工作物の新築・増築・改築・外観の変更等】

※太陽光発電施設はP3～【太陽光発電施設の新築・増築・改築・外観の変更等】を参照のこと。

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
位置及び規模	地域の人々に親しまれているランドマーク（目印、シンボル）や良好な景観の眺望を妨げることのないよう敷地内での位置及び規模に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	文化財やきたかみ景観資産等の周辺への大規模な建築物や工作物の建設はできるだけ避ける。	<input type="checkbox"/>	
	山並みへの眺望の確保のため、りょう線を断ち切らないよう敷地内での位置及び規模に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	道路、河川等の公共空間に接する部分のスペースの確保や植栽等により、歩行者等への圧迫感、威圧感の緩和に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
形態及び意匠	周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮した形態・意匠とする。	<input type="checkbox"/>	
	外壁や屋上に設ける設備は露出させないように配慮する。やむをえず露出させる場合は、目立たないような位置に設置する等の措置を講じる。	<input type="checkbox"/>	
	屋外階段やベランダ等は建築物と一体感のある構造・意匠とする。	<input type="checkbox"/>	
	低層部のデザインは、歩行者等に対する快適性の創出に配慮したものとする。	<input type="checkbox"/>	
	商業施設のショーウィンドーやシャッター等は、歩行者の圧迫感の緩和やにぎわいの創出に配慮したものとする。	<input type="checkbox"/>	
色彩	周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮した色彩とする。工作物について、やむをえず突出した色彩となる場合は、自然素材を生かした囲い等による修景の措置を講じる。	<input type="checkbox"/>	

良好な景観形成のための配慮事項 チェック表

素材	汚れや老朽化が目立たないような素材を用いる。	<input type="checkbox"/>	
敷地	敷地内はできるだけ緑化し、うるおいのある景観の創出に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	景観上優れた既存樹木がある場合は、できるだけ保存や移植により修景に活用する。	<input type="checkbox"/>	
	敷地内に屋外駐車場を設置する場合は、場内や境界部を緑化等により修景し、まちなみの連続性の確保や隣接する敷地との調和に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
その他	建築物に附帯する広告物は、できるだけ建築物と一体化させる。	<input type="checkbox"/>	
	広告物は、できるだけ規模が大きくならないよう配慮する。また、周辺の自然やまちなみにふさわしい形態や色彩、素材に配慮し、照明については、派手な色彩や激しい点滅を避ける。	<input type="checkbox"/>	
	自動販売機の色彩は、周辺の自然やまちなみ等との調和に配慮し、やむをえず突出した色彩となる場合は、自然素材を生かした囲い等による修景の措置を講じる。	<input type="checkbox"/>	
	自動販売機を複数台並べて設置する場合は、統一した色彩等、周辺の自然やまちなみ等に調和したものを設置する。		
	既存の建築物は、できる限り汚れや老朽化が目立たないような管理に努める。	<input type="checkbox"/>	
	建築物及び工作物の撤去後の跡地は、周辺の自然やまちなみと調和するよう修景に配慮する。	<input type="checkbox"/>	

良好な景観形成のための配慮事項 チェック表

【太陽光発電施設の新築・増築・改築・外観の変更等】

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
位置及び規模	太陽光パネルの向きや傾斜をそろえ、配列に統一感のある配置を行う。	<input type="checkbox"/>	
	山の斜面に設置する場合は、太陽光パネル単一による圧迫感や人工物の存在感を軽減させるため、太陽光パネルの分散配置やパネル周辺に樹木を設置する。	<input type="checkbox"/>	
	稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避け、やむを得ない場合は尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	<input type="checkbox"/>	
	文化財やきたかみ景観資産との接近を避ける、もしくは、樹木等による緩衝帯を設ける。	<input type="checkbox"/>	
	周囲からの視界をできる限り遮らないよう、設置高さは最低限とする。		
	主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から1m以上距離後退させる。		
形態及び意匠	太陽光パネルの材質は、低反射性のものを使用する。	<input type="checkbox"/>	
	太陽光パネルの模様が目立たないものを使用する。	<input type="checkbox"/>	
色彩	太陽光パネルの色彩は、黒や濃紺を基本とした低彩度の目立たないものを使用する。	<input type="checkbox"/>	
	道路等から容易に望見できる場所(道路沿い、斜面等)に設置する場合は、太陽光パネルのフレームの色彩についても、低彩度の目立たないものとする。	<input type="checkbox"/>	

良好な景観形成のための配慮事項 チェック表

色彩	附属設備についても周辺の景観と調和した色彩とし、低彩度で統一する。	<input type="checkbox"/>	
形状及び 緑化	樹木の伐採は必要最低限とする。	<input type="checkbox"/>	
	敷地内の緑化を行い、地表面の露出を最低限とする。	<input type="checkbox"/>	
	道路沿いや建物等と隣接する場合は、太陽光発電施設の目隠しとなるよう、境界付近に樹木や塀等による遮へいを行う。	<input type="checkbox"/>	

【開発行為】

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
形状及び 緑化	できるかぎり長大な法面、擁壁が生じないようにし、圧迫感、威圧感の緩和に配慮する。	<input type="checkbox"/>	
	法面はできるだけ緑化可能な勾配とし、緑化による修景に配慮する。	<input type="checkbox"/>	

【土石の採取】

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
遮へい	土石の採取の場所が道路等から見えないよう、できるだけ植栽や塀等による遮へいを行う。また、既存樹木がある場合は、それらの保全による遮へいを心がける。	<input type="checkbox"/>	
採取後の 措置	土石の採取等による跡地は、緑化による修景に配慮する。	<input type="checkbox"/>	

良好な景観形成のための配慮事項 チェック表

【屋外における土石・廃棄物の堆積】

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
堆積の方法	道路等の公共空間からできる限り離れた位置に整然と堆積する。	<input type="checkbox"/>	
遮へい	堆積の場所が道路等の公共空間から見えないよう、樹木や塀等による遮へいを行う。	<input type="checkbox"/>	

【木竹の伐採】

項目	配慮事項	チェック	具体的な取組
緑化	伐採は必要最小限とし、伐採後は緑化による修景に配慮する。	<input type="checkbox"/>	